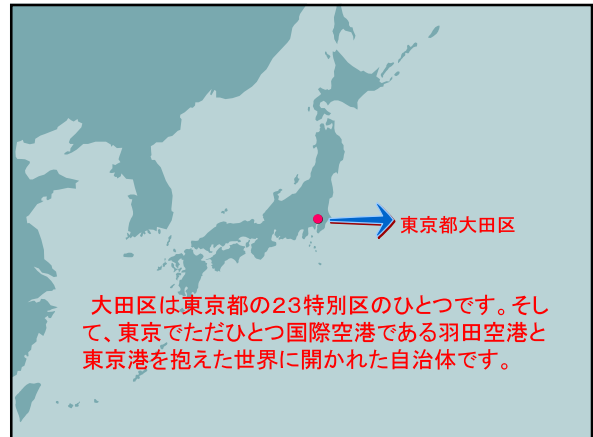


日韓欧首長サミット

セッション2

「多様性を生かしたまちづくり」

モデレーター	聖公会大学教授 ヤン・キホ
コメンテーター	日本国際交流センター執行理事 毛受敏浩
事例発表者	大田区長 松原忠義【日本】
	新宿区長 中山弘子【日本】
	光州市光山区長 ミン・ヒョンベ【韓国】
	ロッテルダム市副市長 コリー・ラウイッシュ【オランダ】



大田区の概要

- 大田区の面積は東京23区の中で一番広く60.42km²
- 人口は東京23区中第3位で約69万6千人(2012.8.1現在)
- 大田区には世界でもトップクラスの技術を有する中小企業が集積

「NO.1」 in 東京

- 工場数 4,362 (2008.12.31現在)
- 工場従業者数 35,741人 (2008.12.31現在)
- 製造品出荷額 779,587,000,000円 (2008年度)

- 大田区の予算規模(2012年度)
- 一般会計予算 2264億4千万円

羽田空港の国際化 ～17都市とのつながり～

世界の17都市、ソウル・北京・上海・香港・台北・バンコク・クアラルンプール・コタキナバル・シンガポール・ロンドン・パリ・ホノルル・バンクーバー・サンフランシスコ・ロサンゼルス・トロント・ニューヨークと結ばれる。

1931年 羽田空港開港
1978年 成田新東京国際空港が開港、国際線が移転
2003年 韓国金浦空港とのチャーター便就航
2010年 羽田空港再国際化
2013年 年間発着回数が1.5倍(約9万回)

20年後の将来像

地域力が区民の暮らしを支え、
未来へ躍動する国際都市おおた
～大田区基本構想より～

キーワード
「地域力」と「国際都市」

「国際都市おおた」をめざす!

- 羽田空港の国際化により海外からの来訪者増加、産業や観光などまちづくりを推進する上で好機
- 在住外国人の増加により、発生する課題への対応は、タイミングを逸した後追いではなく、将来を見据え、施策を展開することが大田区の国際都市政策
- 国際都市おおたを目指して施策を展開することは、メリットを最大化し、デメリットを事前に解消

大田区総合体育館



2012年6月30日 開館
「スポーツ健康都市宣言」を実施



スポーツを通じての国際交流の拠点
4000席の観客席、国際競技大会の基準を備えた体育館

来～る大田区大使

在住外国籍区民を「来～る大田区大使」として任命
大田区の魅力を出身国や都市、コミュニティに発信



大田区の観光ルートと一緒に検証

～国際都市の2本の柱～

「国際交流」と「多文化共生」

大田区多文化共生の将来像

～地域の中で わかりあい ともに生きる～
多文化が地域に活力を生み出す
「国際都市おおた」


基本目標

- 外国人と日本人が地域生活において、対等な立場でよりよい関係を築けるよう多文化共生意識を広げます
- 外国人が地域の中で安心して暮らせるまちをつくります
- 外国人も地域の主人公の一人として「国際都市おおた」のまちづくりに主体的に参画する仕組みをつくります

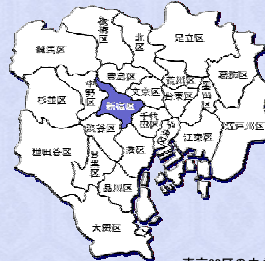
大田区多文化共生推進施策

- 区内在住外国人実態調査の実施
平成21年10月
- 大田区多文化共生推進プランの策定
平成22年3月
- 大田区多文化共生推進センター
(micsおおた)の開設
平成22年9月
- 大田区多文化共生推進協議会の設置
平成23年11月

多様性を生かしたまちづくり

 新宿区長 中山 弘子

1 多様な顔を持つまち「新宿区」 —住み、働き、学び、憩い、楽しむ国際交流都市—



東京23区の中心に位置する新宿区

昼間人口 750,120人

(平成22年 国勢調査)
(3位/23区)

小売業の年間商品販売額^(※)
1兆 3493億円
(2位/23区)

大規模小売店数 66店^(※)
(1位/23区)

新宿駅の乗降客数 350万人/日
(※平成15年商業統計調査)
(1位/全国)



超高層のビジネス街



日本有数の商業・飲食の街



学園都市

早稲田大学 学習院女子大学
慶應義塾大学 工学院大学 上智大学
宝塚大学 中央大学 東京医科大学
東京女子医科大学 東京富士大学
東京理科大学 法政大学 目白大学
などの大学キャンパス

専修学校・各種学校の数 70校
(1位/23区)

日本語学校 約50校



早稲田大学には、
4,000人近い留學生が学ぶ。

緑も多い生活都市

32万人が生活する都市
(日本人 13位/23区)
(外国人 1位/23区)



神田川



新宿御苑

国際観光都市

全国の外国人旅行者の都市・観光地
訪問率 34.8%(1位/全国)
(INTO訪日外客訪問地調査2010)
東京都における外国人旅行者の最も
満足した街 13.1%(1位/東京)
(平成22年東京都観光客等実態調査)

2 外国人が多く住み活動することも多様性のひとつ

(1) 日本の先端をいく外国人比率

住民基本台帳人口(平成24年9月1日現在)

日本人	287,009人	89.9%
外国人	32,178人	10.1%
住民基本台帳人口	319,277人	100.0%

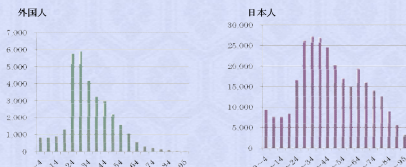
平成24年1月1日現在

全国	1.63%
東京都	3.10%

(2) 20・30歳代が多い外国人

—在留資格「留学」が外国人住民のうち26.7%—

新宿区年齢階層別人口の比較 (平成24年9月1日現在)



3 外国人が多く住むことを積極的に捉える —活発な経済活動は新宿区の新たな魅力と活力をつくる—

① 新宿区の高齢化率を下げている外国人住民

新宿区住民基本台帳人口（年齢3区分人口：平成24年9月1日現在）

	世帯	総人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15歳～64歳)	老年人口 (65歳以上)
日本人	287,099人	24,618人 (8.6%)	201,781人 (70.3%)	60,700人 (21.1%)
外国人	32,178人	2,549人 (7.9%)	26,819人 (80.5%)	825人 (2.9%)
住民基本台帳人口	319,277人	27,168人 (8.5%)	230,594人 (72.2%)	61,525人 (19.3%)

外国人が多く住むことで、新宿区の老年人口を1.8% (21.1%→19.3%) 下げている。

② 経済活動に関する在留資格(就労資格 22.0%、永住者 17.5%)

- ① 「人文知識、国際業務」 9.1%、「技術」2.8%
多くは「留学」で来日し、大学や大学院を卒業して日本で就職
- ② 「技能」4.3%、「投資経営」2.8%
外国料理店の料理人や経営者
- ③ 「永住者」2000年1,033人(4.7%)→ 2012年8月現在 5,667人(17.5%)

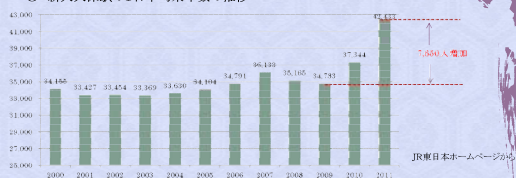
7

(3) 大久保地域の活性化



8

○ 新大久保駅の1日平均乗車数の推移



○ 平成24年1月1日の公示地価

新大久保駅付近の高商業地で公示地価が上昇(23年 157万円→24年 160万円)
都内約2,500地点中上昇したのは、8地点のみ。

○ 外国人が増えることの肯定的な評価

- ・様々な国の料理が楽しめる
- ・外国語を習ってみようと思ふ
- ・異なる文化にふれられる

9

4 多文化共生に取り組む中での課題

—新宿区多文化共生実態調査結果の比較—

	2003年度	2007年度
近所に外国人が住むことについて	好ましい	17.1
	好ましくない	27.8
外国人が増えると心配に思ふこと	犯罪が増える	61.7
	なんとなく不安	38.3
部屋に大勢が住む	33.7	27.6

近所に外国人が住むことについて◀日本人:居住地域別▶

地域別	2003年度		2007年度	
	好ましい	好ましくない	好ましい	好ましくない
四谷	8.1%	17.2	22.3	18.4
犀	5.6%	29.7	11.9	38.0
西	6.3%	29.7	18.8	33.4
若松	7.0%	20.1	28.7	22.3
大久保	23.4%	19.1	46.7	10.2
戸塚	9.7%	10.2	29.5	21.7
落合第一	5.9%	9.9	26.7	20.9
落合第二	4.8%	16.7	22.4	16.3
柏	16.3%	28.2	39.2	11.1
角筈	8.1%	10.5	31.6	22.6
全体	10.1%	17.1	27.8	21.2



10

5 結び

(1) 新宿区自治基本条例(平成22年10月制定) 前文

「…私たちは、世界からこの地に集う人々とともに互いの持つ多様性を認め合う多文化共生社会の実現をめざすとともに、…」

(2) 新宿区多文化共生まちづくり会議(平成24年9月設置)

- ・ 区長の附属機関として設置。
- ・ 学識経験者、公募区民、多文化共生活動団体代表、地域団体代表で構成委員31名(日本、韓国、中国、ネパール、ミャンマー、フランス、米国、フィリピン、タイ)

諮問事項

- ・ 「外国にルーツを持つ子どもの教育環境の向上につ
- ・ 「災害時における外国人支援の仕組みづくりにつ



11

It's together+ Gwangsan!

Asia-Europe Intercultural City Summit, 2012 in Hamamatsu

I-1.光山区の現状と特性

- 位置: 大韓共和国の西南部の中心都市
- 面積: 222,88km² (市全体の 45%)
- 人口: 389,936人 (外国人7,332人を含む)
- 産業団地: 4つの団地に1,562社立地

多様性が共存する都市

先鴻伝統、都市農村、旧都心-新都心の多様性が混在

若くて活気のある都市

人口増加率-全国自治体のうち10位
区民の平均年齢33.4歳
青少年人口比率: 23%

外国人が集まる都市

光州市の55%の産業団地が集中
登録外国人の50%以上居住

I-2.外国人の現状

	2008	2009	2010	2011	2012
Gwangsan (全国比の比率)	4,696 (0.61%)	5,189 (0.62%)	5,631 (0.61%)	6,752 (0.67%)	7,228 (0.64%)
Korea	767,823	825,410	920,887	1,002,742	1,117,481

*実際の外国人住民の潜在人口(国籍取得者および未登録外国人を含む): 約1万人(推計)

国別状況

その他	794	130.3%
ネパール	794	130.3%
タイ	476	16.8%
カンボジア	548	17.5%
ウズベキスタン	388	15.3%
スリランカ	516	17.3%
インドネシア	498	16.8%
フィリピン	794	130.9%
韓国系中国人	374	13.9%
ベトナム	471	16.0%
中国	471	16.0%

在留資格別状況

労働者	4,104人	(56.7%)
その他	1,156人	(16.1%)
訪問同居	198人	(2.7%)
結婚移住女性	907人	(12.5%)
留学	868人	(11.9%)

*掲載: 全国外国人住民の現状調査 (行安部, 2012. 1. 1現在)

II. 多文化政策の推進、環境

国際的トレンド

- グローバル化・国際化による異業種間の多様な交流と移住の増加
- 異業種間中心の円滑な移住・多文化共生のニーズの増加

国内環境

- 官主導による多文化家族中心の政策推進
- 外国人住民の国内定着率の増加
- 移住女性、労働者、中途入国の子どもなどへの様々な行政需要が発生

移民の現在の現状

- 言語と文化の不適合
- 情報取得の制限による日常生活の困難
- 文化共有機会の不足
- 周辺からの疎外感

“多様性を活かした都市づくり”

III. 多文化共生都市ビジョン

住みやすい光山 よりよい光山

Vision 人権と多様性が尊重される成熟した多文化共生都市

社会文化への適応支援

- 多文化家族支援センターの運営
- サポートネットワークの運用
- 文化芸術・体育行事

住居参加とのコミュニケーション

- 多文化理解の増進
- 移民のNPO活動

移民の社会参加

- 社会的な企業運営
- 才能活用、ボランティア

Infra

- 外国人住民専任部署の新設○外国人住民支援ネットワークの構築
- 多文化家族支援機構の設置○多文化家族と外国人住民支援条例

多様な文化のアイデンティティーを持つ主体的な市民として位置付け
地域住民と一緒に作っていく“多文化共生社会”の模範の追求

III-1. 多文化家族支援センターの運営

- 社会文化への適応支援-I
- 住民参加とコミュニケーション
- 移民の社会参加

基本現況

- 2009年に設立
- カトリック法人運営
- 従事者29人 (外国人6人と含む)

住民参加の現状

- 韓国語教室の講師
- 子育てヘルパーサービス
- 訪問教師メンタリング

移住女性への支援

- 初来人国移住女性へのメンタリング
- 通訳 翻訳ボランティア

III-1.外国人支援ネットワークの運営

■社会文化への適応支援-2
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加

光山区外国人住民支援施策委員会

行政・法律サポート | 健康・安全をサポート | 教育支援 | 就職・就労サポート | 福祉・文化支援

■分野 : 5つの分野(行政・法律、安全、教育、雇用、福祉)
■構成人員 : 16人(14機関団体)
-教育庁、警察署、雇用センター、入国管理局など4つの公共機関、5つの関連機関、外国人労働者と移住女性をサポートする5つの民間団体と外国人住民の参加
■機能:光山区外国人住民支援事業諮問及び審議機能を実行

III-1.文化・芸術・体育行事

■社会文化への適応支援-3
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加

'Made in Asia' 公演

-日時: 2012. 8. 5. 15:00
-内容: モンゴル、ベトナムなどアジア7カ国12人の伝統音楽家を招待
-主催: 光州カトリック福祉会、光州円仏教女性会

外国人労働者ハンマダン (since 2006)

-日時: 元旦、盆(年2回)
-内容: 各国の料理文化体験、文化公演、隠し芸の披露など

III-2.多文化理解の増進

■韓国社会適応支援
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加

■コミュニケーションのための準備運動、異文化を抱き締めよう!

外国人花嫁の里親縁結び

多文化体験祭り

多文化家庭と一般家庭との子供サッカー教室

III-2.移民NPO活動

■韓国社会適応支援
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加

外国人労働者

▼労働相談 | ▼無料診療支援 | ▼各国のイベントをサポート

III-2.一緒に幸せな光山!

■韓国社会適応支援
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加

事例1 外国人労働者“アンザナ”のための治療費募金運動

国内メディアの報道内容

“希望を抱いて帰国する外国人労働者”

“トゥギャザー光山、外国人労働者に温情”

“30日ぶりに4,383人の住民が寄付参加”

“違法移民はあっても違法人はいない”

現在募金額 9,313,079円

III-2.一緒に幸せな光山!

■韓国社会適応支援
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加

事例2 区民が一緒に叶えてくれた“チュムチャンナ”の三つの願い!

区長が直接聞いた、チュムチャンナの願い

1. 病気の母の見舞いをしたい
2. 韓国で結婚式を挙げたい
3. 韓国国籍を取得したい

チュムチャンナ事情の報道とトゥギャザー館山中心寄付運動を展開

1 実家へ! - 2011. 4. 9. ~ 4. 23.

2 結婚式 - 2011. 5. 20.

III-3.社会的企業の運営

■韓国社会適応支援
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加-1

移住女性 社会的企業“野の花カフェ”の運営、自国の野菜栽培販売



多文化児童 共同育児センターの運営

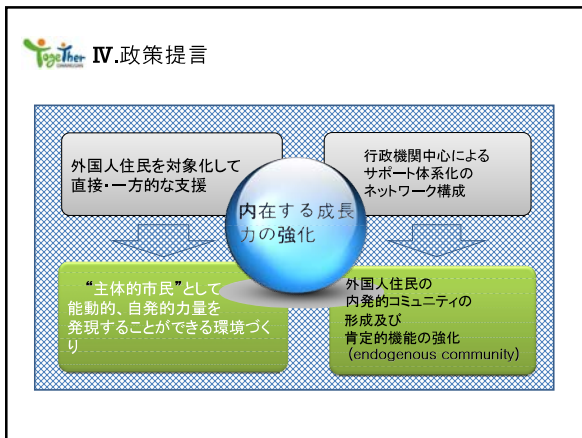



III-3.移住女性による才能を生かしたボランティア

■韓国社会適応支援
■住民参加とコミュニケーション
■移民の社会参加-2

■移住女性の才能を生かした週末の外国語教室の運営
一毎週土曜日、英語・中国語・ベトナム語(3ヶ国語)

■敬老施設へ訪問し、マッサージサービスと多文化料理のもてなし

Gemeente Rotterdam

ロッテルダムにおける
多様性

コリー・ラウイッシュ
ロッテルダム市副市長(雇用、高等教育、
イノベーション、市民参加担当)

ROTTERDAMWORLDPORTWORLD
CITYROTTERDAMWORLDPORTWORLD
CITY



D66

ロッテルダムの第一印象

紹介




市の取組



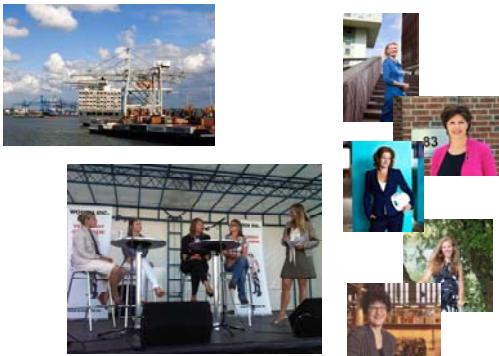
HET GELUID
VAN ROTTERDAM



ホットスポット・ヒュッツポット



ポート・エンジェルス



オプズーメン (Opzoomeren)





偏見無しで...

このことについて、有名なアーティスト
がどのように言っているか見てみま
しょう...

